



◀ 楽房まんじゅうを調理する香山さん



夢フェスタでにぎわう楽房円心 (11/21)

しい特産品を」と代表の香山陽子さん(大持)を中心に研究を重ね、地元産の小麦とサツマイモを使った番茶風味の「楽房まんじゅう」を開発。

兵庫県では、より豊かな農山漁村づくりをめざして、優れた活動や研究成果を募集し優秀作品を表彰するコンクールを毎年実施しています。この「平成16年度ひょうごの農とくらし研究活動コンクール」において、上郡町で「楽房まんじゅう」を研究開発し、製造販売している「上郡町農産加工グループ」が農林水産加工の部で見事、最優秀賞の兵庫県知事賞を受賞しました。グループは「上郡町に新しい特産品を」と



安則町長に受賞の報告をしました (11/7)

今年4月からは本町の本多薬房(薬局)跡の建物内部を改装して「楽房円心」をオープンさせています。11月15日、神戸市内で開かれた表彰式に出席した香山さんは、「田舎らしい素朴な味の追求と地元の素材を生かしたことで、また商品名を『楽房』を変化させてネーミングしたことなどが総合的に評価された結果です。」と話されていました。

祝 最優秀賞!!  
『楽房まんじゅう』が 県知事賞受賞



人と虫とのかかわりを知る資料館  
「赤松の郷 昆虫文化館」がオープン

11月23日(祝・火)、旧赤松幼稚園の園舎内を改装し、「赤松の郷 昆虫文化館」がオープンしました。この資料館は館長の相坂耕作さん(姫路市)が収集した昆虫にまつわる民芸品やおもちゃ、標本など約5千点を展示したものです。

一般公開を前に関係者を集めて行われた開館式で、相坂さんは「私が子どもの時から集めてきた展示品の数々を多くの皆さんに見てもらうことで、人の暮らしと昆虫との関係を知ってもらえればと思っています。」とあいさつされました。また来賓として出席した安則町長は「世界的にも珍しい展示品をそろえたこの文化館のオープンで、上郡の自慢できるものがまた一つ増えました。」と述べました。

【開館日:原則として土・日・祝日の午前10時~16時30分 ☎52-6089】



めずらしい昆虫の標本もたくさん 町長、教育長と握手する相坂さん(中央)

親子で、きのこ汁に舌鼓  
紅葉の森林体験の森で「きのこ収穫祭」

11月21日(日)、山野里の森林体験の森で、森林ボランティアグループ「森のわくわく倶楽部」主催の「きのこ収穫祭」が行われました。

約70名の参加者の中には、今年3月実施のシイタケ・エノキ栽培教室で自ら植菌作業をした親子もいて、自分の名札のついたほだ木をさがしては、シイタケをもぎ取っていました。また、会場では、梨ヶ原公民館の琴教室の皆さんが出演するミニコンサートのほか、ピュアランドの料理長の協力でキノコ汁とシイタケの天ぷらが参加者にふるまわれ、秋を五感で満喫するイベントとなりました。



秋の森に響く琴の音色

「お父さん、きのこっておいしいね」

芸術の秋・文化の秋を満喫  
今年も町民がこぞって参加の文化祭



10月30日から約1ヵ月間にわたって、中央公民館などで上郡町文化祭が開催されました。展示部門では学校園で選ばれた絵画や習字の力作や、一般からの書道、絵画、写真、各種教室の生徒作品の陶芸、工芸、編み物などの作品が、つばき会館と講堂に展示されました。

一方、公民館の中庭には野点が設けられ茶道教室のお茶会が、また11月3日には、大ホールで文化協会の芸能発表が行われ、多くの方が日ごろの成果を披露しました。

明るい未来は健康から!!  
保健センターで健康福祉まつりを開催



11月7日(日)、保健センターで「第19回健康福祉まつり」が行われました。センター内では、栄養指導のコーナーや歯科健診コーナーなどが設けられ、歯磨き指導を受ける親子連れでにぎわいました。毎年恒例の「赤ちゃんハイハイ競争」には17名の元気な赤ちゃんが参加し、会場を盛り上げていました。また、屋外に設置されたミニ新幹線は子どもたちに大人気で、順番を待つために何度も列に並ぶ親子の姿が見られました。

教育委員会 社会教育課より

人権クロスワードパズルのご応募ありがとうございました!

このたび、人権文化をすすめる県民運動の一環として「人権クロスワードパズル」を募集しましたところ、199通もの応募があり、その内、100名の当選者が選ばれました。なお、当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。また、同時に行いましたアンケート結果のうち、主なものを右に掲載します。明るく住みよいまちづくりに向けて、今後の事業に生かしていきたいと思ひます。

上郡町教育委員会 社会教育課 ☎52-2912

【設問1】人権問題の解決のためには、今後どのようなことに力を入れていけばよいと思われますか。(上位3つ)

- ①学校での人権教育(23.1%)
- ②地域での学習会の開催(17.6%)
- ③映画などの視聴覚教材の活用(15.1%)

【設問2】人を大切にする思いやりにあふれた社会を築くために、日常生活の中でどんなことができますか。

- ・日常のあいさつ、声かけ
- ・地域での助け合い
- ・公共のマナーを守る
- ・講演会、学習会への参加
- ・ボランティアへの参加
- ・世代間のふれあい交流
- ・命を大切にする教育
- ・やさしい気持ちで人に接する
- ・家族同士で助け合い、思いやる
- ・笑顔の会話
- ・地域行事への参加
- ・お年寄りを大切にする
- ・うわさ話をつつしむ
- ・自己中心的な言動や行動をつつしむ